



## 平成22年10月期 第2四半期決算短信

平成22年6月10日

上場取引所 東

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社  
 コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 望月 信彦

(氏名) 小池 好智

TEL 03-3822-5036

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成22年10月期第2四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第2四半期	25,581	△5.9	2,100	△1.8	2,498	13.9	1,603	40.8
21年10月期第2四半期	27,182	—	2,139	—	2,193	—	1,139	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第2四半期	19.91	—
21年10月期第2四半期	14.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年10月期第2四半期	54,941	—	40,448	—	70.0	477.57
21年10月期	52,010	—	39,029	—	71.3	460.34

(参考) 自己資本 22年10月期第2四半期 38,470百万円 21年10月期 37,083百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	—	—	3.00	3.00
22年10月期	—	—	—	—	—
22年10月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	△1.9	550	△17.5	1,100	17.9	550	102.2	6.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |              |             |              |             |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年10月期第2四半期 | 86,977,709株 | 21年10月期      | 86,977,709株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年10月期第2四半期 | 6,425,094株  | 21年10月期      | 6,420,882株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年10月期第2四半期 | 80,554,331株 | 21年10月期第2四半期 | 80,568,086株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、アジア経済を始めとした海外経済の回復を背景に輸出や生産面で改善が見られたものの、失業率が依然として高水準にあるなど雇用及び所得環境は引き続き厳しい状況にあり、本格的な回復にはなお時間を要するものと見込まれます。

農業に関しましては、国内において、食料自給率の向上を図るため、戸別所得補償制度が水田農家を対象としたモデル事業を皮切りとして新たに進められておりますが、農家の高齢化や耕作放棄地の増加などへの対策については期待した効果は現れていません。

このような情勢の中、当グループは、自社開発品などを中心として、国内、国外での事業推進に努力いたしました。国内での流通段階における在庫圧縮の影響などから、当第2四半期連結累計期間における売上高は255億8千1百万円、前年同期比16億1百万円(5.9%)の減となりました。損益面につきましては、営業利益は21億円とほぼ前年並みとなりました。経常利益は為替差損が前年同期に比べ減少したこと、24億9千8百万円、前年同期比3億5百万円(13.9%)の増となりました。四半期純利益は、特別損失が前年同期に比べ減少したこと、16億3百万円、前年同期比4億6千5百万円(40.8%)の増となりました。

事業の種類別セグメントの概況につきましては以下の通りです。

事業	平成22年10月期 第2四半期		平成21年10月期 第2四半期		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	百万円	%	百万円	%	%
化学品事業	23,918	93.5	25,544	94.0	△6.4
賃貸事業	107	0.4	105	0.4	2.2
その他の事業	1,556	6.1	1,533	5.6	1.5
計	25,581	100.0	27,182	100.0	△5.9

(1) 化学品事業

国内部門においては、水稲用除草剤は「トップガン剤」を中心に販売に注力いたしましたが、水稲用除草剤全体としては前年同期より減少いたしました。水稲用箱処理剤では、「ブイゲット剤」が前年同期を上回りました。園芸剤分野では、殺菌剤で「プロポーズ剤」が前年同期を上回り、殺虫剤では「アドマイヤー剤」が伸張いたしました。非農耕地分野はほぼ前年同期並みに推移しました。

国外部門においては、米国向けの棉用除草剤「ステイブル」が作付面積の増加から大きく伸張し、直播水稲用除草剤「ノミニー」もインドを始めとするアジアで好調に推移いたしました。

上記の結果、化学品事業の売上高は239億1千8百万円、前年同期比16億2千6百万円(6.4%)の減、営業利益は21億1千6百万円、前年同期比9千7百万円(4.4%)の減となりました。

(2) 賃貸事業

引き続き保有資産の有効活用に努めた結果、売上高は1億7百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は1億9千万円)、前年同期比2百万円(2.2%)の増、営業利益は1億2千1百万円、前年同期比3百万円(2.7%)の減となりました。

(3) その他の事業

流通事業及び印刷事業とも、国内景気の回復が弱く、国内需要の停滞を反映した厳しい環境の中、受注の確保や新規顧客への積極的な営業活動に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

上記に情報サービス事業を加えた、その他の事業の売上高は15億5千6百万円、前年同期比2千3百万円(1.5%)の増、営業利益は1億3千万円、前年同期比4千1百万円(47.1%)の増となりました。

所在地別セグメントの業績は、日本セグメントは売上高219億4千8百万円、前年同期比11億1千4百万円(4.8%)の減となり、営業利益22億8千3百万円、前年同期比7千9百万円(3.6%)の増、北米セグメントは、化成品の在庫調整の影響のため、売上高19億8千8百万円、前年同期比1億7千3百万円(8.0%)の減となり、営業利益7千4百万円、前年同期比1千4百万円(15.5%)の減、欧州セグメントにつきましても、化成品の在庫調整の影響のため、売上高16億4千5百万円、前年同期比3億1千5百万円(16.1%)の減、営業利益9百万円、前年同期比1億2千9百万円(93.3%)の減となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は549億4千1百万円で、前連結会計年度に比べ29億3千1百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は144億9千4百万円で、前連結会計年度末に比べ15億1千2百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金並びに未払法人税等が増加したことによるものです。

純資産は404億4千8百万円、自己資本比率は70.0%、1株当たり純資産は477円57銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、72億4千1百万円の減少となりました。これは、税金等調整前四半期純利益26億2千万円、仕入債務の増加15億9千万円及びたな卸資産の減少13億7千7百万円等の資金の増加に対し、売上債権の増加124億7千9百万円等の資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億7千4百万円の減少となりました。これは、有価証券の償還による収入6億円等の資金の増加に対し、投資有価証券の取得による支出5億円及び有形固定資産取得による支出2億4千1百万円等の資金の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億8百万円の減少となりました。これは、配当金の支払2億4千8百万円等の資金の減少によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、期首残高に比べ78億2千8百万円減少し、32億5百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月期の連結業績予想は、平成21年10月期の決算発表時（平成21年12月16日）の業績予想から変更はありません。業績予想に関しましては6月1日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,987	11,664
受取手形及び売掛金	17,972	5,501
有価証券	35	636
商品及び製品	5,046	6,563
仕掛品	1,668	1,971
原材料及び貯蔵品	1,106	663
繰延税金資産	800	800
その他	197	533
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	30,809	28,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,666	3,762
機械装置及び運搬具(純額)	807	877
土地	6,317	6,316
その他(純額)	511	483
有形固定資産合計	11,301	11,439
無形固定資産		
投資その他の資産	192	213
投資有価証券	11,269	10,669
繰延税金資産	147	142
その他	1,223	1,222
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,639	12,031
固定資産合計	24,132	23,683
資産合計	54,941	52,010
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,375	6,789
短期借入金	11	11
未払金	706	1,448
未払法人税等	969	53
賞与引当金	318	464
環境対策引当金	—	142
その他	433	401
流動負債合計	10,813	9,309

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	23	28
繰延税金負債	921	936
退職給付引当金	1,924	1,929
役員退職慰労引当金	440	414
その他	373	366
<b>固定負債合計</b>	<b>3,681</b>	<b>3,672</b>
<b>負債合計</b>	<b>14,494</b>	<b>12,982</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	4,833	4,833
利益剰余金	28,967	27,606
自己株式	△1,222	△1,221
<b>株主資本合計</b>	<b>37,112</b>	<b>35,753</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	1,664	1,693
為替換算調整勘定	△307	△362
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,357</b>	<b>1,331</b>
少数株主持分	1,978	1,945
<b>純資産合計</b>	<b>40,448</b>	<b>39,029</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,941</b>	<b>52,010</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)
売上高	27,182	25,581
売上原価	20,548	19,274
売上総利益	6,634	6,306
販売費及び一般管理費	4,494	4,206
営業利益	2,139	2,100
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	120	187
持分法による投資利益	80	182
その他	53	73
営業外収益合計	271	463
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	27	23
為替差損	176	—
その他	14	42
営業外費用合計	217	66
経常利益	2,193	2,498
特別利益		
固定資産処分益	107	0
受取補償金	—	97
環境対策引当金戻入益	—	30
特別利益合計	107	127
特別損失		
固定資産処分損	13	5
廃棄品処理費用	288	—
たな卸資産評価損	66	—
特別損失合計	367	5
税金等調整前四半期純利益	1,933	2,620
法人税等	738	963
少数株主利益	56	54
四半期純利益	1,139	1,603



## 第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)
売上高	17,556	17,238
売上原価	13,163	12,987
売上総利益	4,393	4,251
販売費及び一般管理費	2,551	2,444
営業利益	1,842	1,807
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	64	130
持分法による投資利益	55	136
その他	33	58
営業外収益合計	161	332
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	21	19
為替差損	129	—
その他	2	38
営業外費用合計	152	57
経常利益	1,851	2,082
特別利益		
固定資産処分益	107	—
環境対策引当金戻入益	—	30
特別利益合計	107	30
特別損失		
固定資産処分損	7	3
廃棄品処理費用	224	—
特別損失合計	231	3
税金等調整前四半期純利益	1,727	2,110
法人税等	643	763
少数株主利益	32	37
四半期純利益	1,052	1,309

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,933	2,620
減価償却費	335	350
有形固定資産売却損益(△は益)	△107	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△147	△146
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△83	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△39	27
その他の引当金の増減額(△は減少)	△118	△142
受取利息及び受取配当金	△138	△208
支払利息	1	1
為替差損益(△は益)	5	2
持分法による投資損益(△は益)	△80	△182
受取補償金	—	△97
売上債権の増減額(△は増加)	△11,196	△12,479
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,307	1,377
仕入債務の増減額(△は減少)	1,335	1,590
その他	221	△228
小計	△6,771	△7,522
利息及び配当金の受取額	182	289
補償金の受取額	—	32
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△100	△40
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,689	△7,241
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△111	△151
有価証券の償還による収入	600	600
有形固定資産の取得による支出	△318	△241
有形固定資産の売却による収入	269	4
無形固定資産の取得による支出	△16	△7
投資有価証券の取得による支出	△1,249	△500
その他	62	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△762	△274
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△6	△6
自己株式の増減額(△は増加)	△6	△1
配当金の支払額	△242	△248
少数株主への配当金の支払額	△9	△8
その他	△40	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302	△308
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,735	△7,828
現金及び現金同等物の期首残高	10,737	11,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,002	3,205

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年4月30日)

	化学品事業 (百万円)	賃貸事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	25,544	105	1,533	27,182	—	27,182
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	83	678	761	(761)	—
計	25,544	187	2,211	27,943	(761)	27,182
営業利益	2,213	124	88	2,425	(286)	2,139

(注) 1. 事業の区分は、製品(商品及び役務提供を含む。)の種類・性質及び販売市場の類似性を考慮して決定しております。

2. 各区分の主な事業等

- (1) 化学品事業 ……農薬・有機中間体等の化学品製造販売事業、環境中の化学物質計量事業
- (2) 賃貸事業 ……土地・建物等の不動産賃貸事業
- (3) その他の事業 ……各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業

3. 従来、賃貸事業はその他の事業に含めておりましたが、当該事業区分の重要性が増したため当第1四半期連結累計期間より「賃貸事業」として区分表示することに変更しました。

4. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用しております。この変更に従い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、化学品事業で57百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年4月30日)

	化学品事業 (百万円)	賃貸事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	23,918	107	1,556	25,581	—	25,581
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	0	83	743	827	(827)	—
計	23,918	190	2,300	26,407	(827)	25,581
営業利益	2,116	121	130	2,366	(266)	2,100

(注) 1. 事業の区分は、製品(商品及び役務提供を含む。)の種類・性質及び販売市場の類似性を考慮して決定しております。

2. 各区分の主な事業等

- (1) 化学品事業 ……農薬・有機中間体等の化学品製造販売事業、環境中の化学物質計量事業
- (2) 賃貸事業 ……土地・建物等の不動産賃貸事業
- (3) その他の事業 ……各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	23,061	2,160	1,960	27,182	—	27,182
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,593	11	—	2,603	(2,603)	—
計	25,654	2,171	1,960	29,785	(2,603)	27,182
営業利益	2,204	88	139	2,430	(291)	2,139

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国

欧州 … ベルギー

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用しております。この変更に従い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、日本で57百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	21,948	1,988	1,645	25,581	—	25,581
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,912	10	—	2,922	(2,922)	—
計	24,859	1,998	1,645	28,502	(2,922)	25,581
営業利益	2,283	74	9	2,366	(266)	2,100

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国

欧州 … ベルギー

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日）

	北米	中南米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,049	1,154	1,506	1,936	271	5,915
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	—	27,182
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	3.9	4.2	5.5	7.1	1.0	21.8

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

北米	…	米国
中南米	…	ブラジル、コロンビア
アジア	…	タイ、韓国、ベトナム
欧州	…	ドイツ、フランス、イタリア
その他	…	エジプト、ロシア

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日）

	北米	中南米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	978	1,281	1,751	1,622	213	5,846
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	—	25,581
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	3.8	5.0	6.8	6.3	0.8	22.9

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米	…	米国
中南米	…	ブラジル、コロンビア
アジア	…	ベトナム、韓国、タイ
欧州	…	ドイツ、フランス、イタリア
その他	…	エジプト、ロシア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 当社個別の用途別売上高明細表

期別 用途	当第2四半期累計期間		前第2四半期累計期間		増減		前期	
	自平 21.11.01 至平 22.04.30		自平 20.11.01 至平 21.04.30				自平 20.11.01 至平 21.10.31	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
殺虫剤	2,662	11.5	2,730	11.4	△ 68	△ 2.5	4,367	12.9
殺菌剤	5,953	25.7	6,026	25.1	△ 73	△ 1.2	9,334	27.6
殺虫殺菌剤	2,517	10.8	2,602	10.8	△ 85	△ 3.3	3,291	9.7
除草剤	11,209	48.4	11,626	48.4	△ 417	△ 3.6	14,925	44.1
その他	836	3.6	1,044	4.3	△ 209	△ 20.0	1,889	5.6
合計	23,177 ( 5,216)	100.0 ( 22.5)	24,028 ( 4,845)	100.0 ( 20.2)	△ 852 ( 371)	△ 3.5 ( 7.7)	33,806 ( 8,243)	100.0 ( 24.4)

(注)上記の( )内は輸出売上高及びその売上高構成比であり、内数であります。